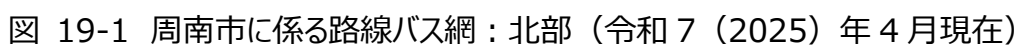


周南市地域公共交通計画 【追補版】

令和7（2025）年4月

①運行状況

北部等の山間部では、主に国道や県道を運行しています。南部では、JR 山陽本線や JR 岩徳線と補完しあいながら運行している一方、経路が重複する系統が存在します。



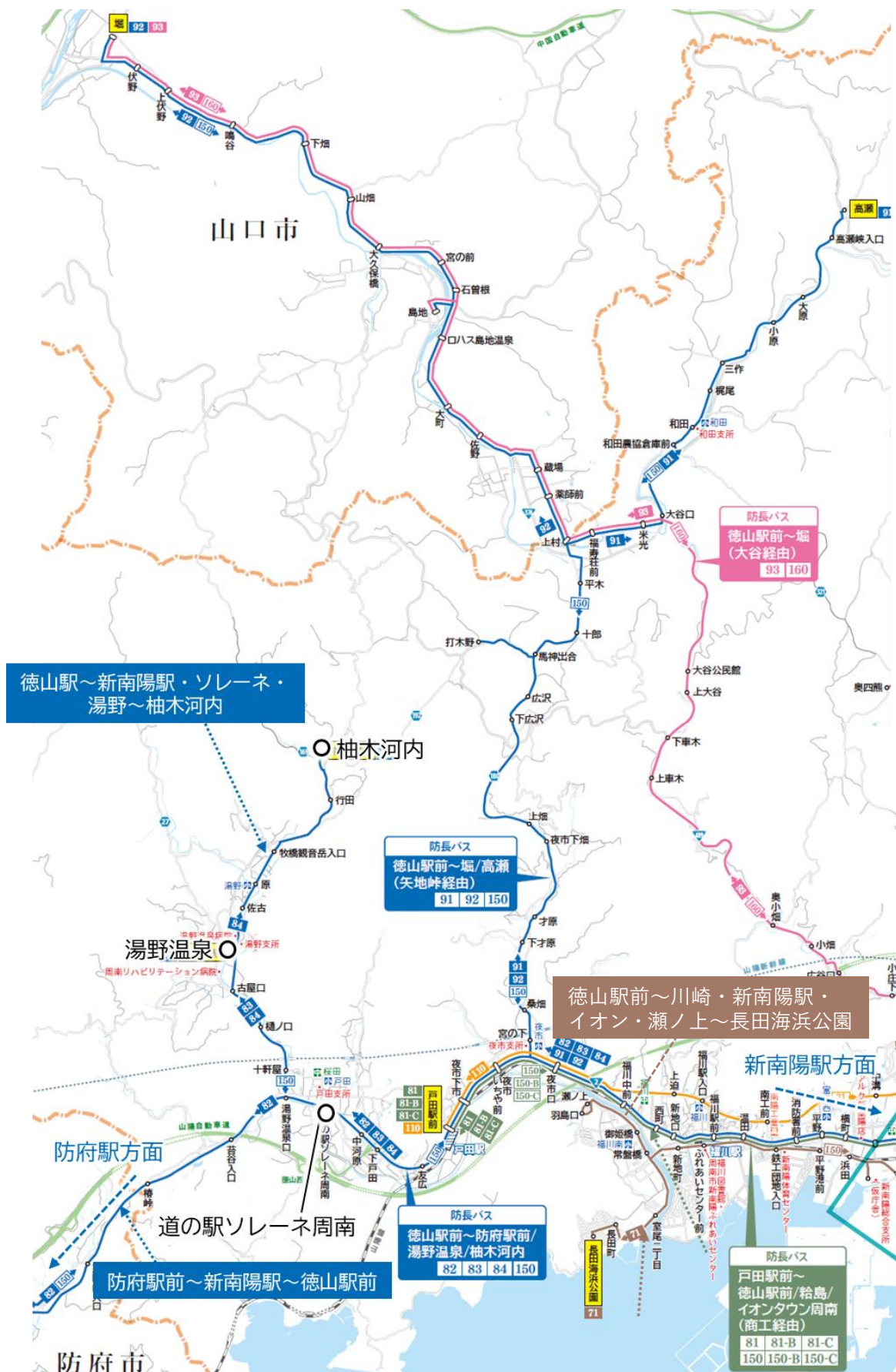


図 19-2 周南市に係る路線バス網：西部（令和 7（2025）年 4 月現在）



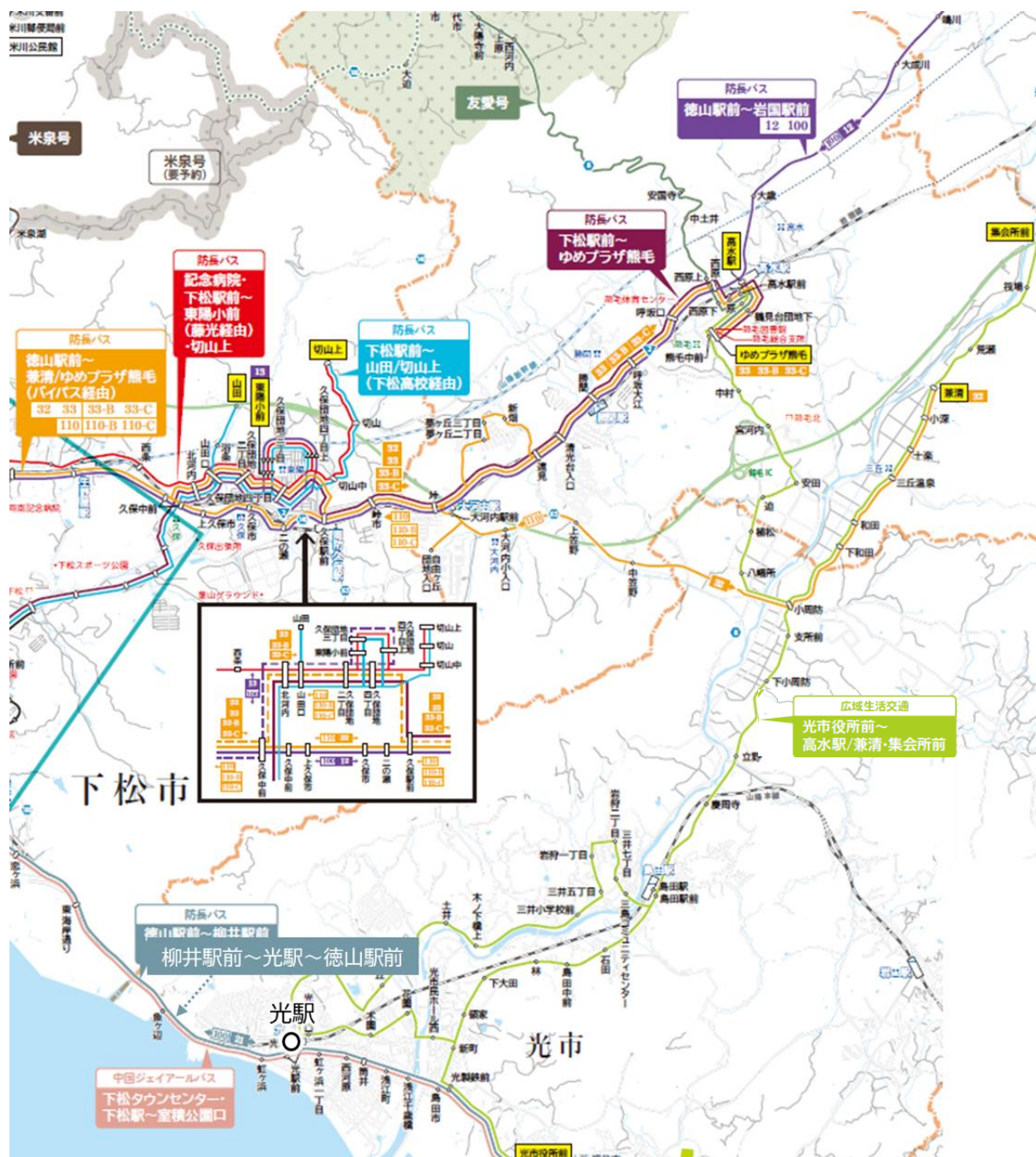


図 19-5 周南市に係る路線バス網：東部（令和 7（2025）年 4 月現在）

表 1 周南市の路線バスの運行状況（令和 7（2025）年 4 月現在）

系統色	起点	主な経過地	終点	事業許可	運行様態	実施主体	補助
	防府駅前	新南陽駅	徳山駅前	4 条乗合	路線定期	交通事業者	幹線
	徳山駅前	新南陽駅・ソレーネ・湯野	柚木河内	4 条乗合	路線定期	交通事業者	幹線
	徳山駅前	新南陽駅・矢地峠・打木野	堀	4 条乗合	路線定期	交通事業者	県
	徳山駅前	新南陽駅・矢地峠・打木野	高瀬	4 条乗合	路線定期	交通事業者	県
	高瀬		堀	4 条乗合	路線定期	交通事業者	
	柳井駅前	光駅	徳山駅前	4 条乗合	路線定期	交通事業者	幹線
	徳山駅前	櫛ヶ浜	杵島	4 条乗合	路線定期	交通事業者	
	戸田駅前	福川・新南陽駅・徳山駅・商工・久米	杵島	4 条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	商工・久米	杵島	4 条乗合	路線定期	交通事業者	
	戸田駅前	福川・新南陽駅・徳山駅・商工	イオンタウン周南久米	4 条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	新南陽駅	戸田駅前	4 条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	バイパス・記念病院・久保団地・夢ヶ丘	ゆめプラザ熊毛	4 条乗合	路線定期	交通事業者	幹線
	徳山駅前	バイパス・自由ヶ丘団地入口	兼清	4 条乗合	路線定期	交通事業者	県
	徳山駅前	徳山高校前・周南団地	下松駅北口	4 条乗合	路線定期	交通事業者	幹線
	徳山駅前	徳山高校前・バイパス	花岡	4 条乗合	路線定期	交通事業者	県
	戸田駅前	バイパス・徳山駅	下松駅北口	4 条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	新南陽駅・夢求の里	コアプラザかの	4 条乗合	路線定期	交通事業者	幹線
	徳山駅前	新南陽駅・大谷	堀	4 条乗合	路線定期	交通事業者	県
	徳山駅前	快）新岩国駅	岩国駅前	4 条乗合	路線定期	交通事業者	県
	徳山駅前	中央線	下松駅北口	4 条乗合	路線定期	交通事業者	幹線
	徳山駅前	末武	花岡	4 条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	末武	東陽小前	4 条乗合	路線定期	交通事業者	
	久保団地四丁目	末武	徳山駅前	4 条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	須々万	鹿野	4 条乗合	路線定期	交通事業者	県
	徳山駅前	須々万	上本城	4 条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	須々万	徳山カントリ前	4 条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	川崎・新南陽駅・イオン・瀬ノ上	長田海浜公園	4 条乗合	路線定期	交通事業者	幹線
	徳山駅前	川崎・新南陽駅	東ソー入口	4 条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	高尾団地	秋月ニュータウン下	4 条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	高尾団地・久米温泉口	下松駅北口	4 条乗合	路線定期	交通事業者	幹線
	徳山駅前	高尾団地・久米温泉口	下松高校入口	4 条乗合	路線定期	交通事業者	
	下松駅前	青葉台団地・久保団地	ゆめプラザ熊毛	4 条乗合	路線定期	交通事業者	県
	徳山駅前	二番町	久米温泉口	4 条乗合	路線定期	交通事業者	

	徳山駅前	二番町・高専正門	久米温泉口	4条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	二番町・久米温泉口	久米温泉口	4条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	遠石	久米温泉口	4条乗合	路線定期	交通事業者	
	久米温泉口	徳山高校前	徳山駅前	4条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	桜木	徳山高専	4条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	球場	徳山高専	4条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	商工・緑ヶ丘（循環）	徳山駅前	4条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	八幡・緑ヶ丘（循環）	徳山駅前	4条乗合	路線定期	交通事業者	
	北山	金剛山・動物園	徳山駅前	4条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	金剛山	北山	4条乗合	路線定期	交通事業者	
	徳山駅前	動物園北口前 （循環）	徳山駅前	4条乗合	路線定期	周南市 （交通事業者へ 運行委託）	
	徳山駅前	動物園文化会館入口 （循環）	徳山駅前	4条乗合	路線定期	周南市 （交通事業者へ 運行委託）	
	下松駅前	櫛ヶ浜・緑ヶ丘	高専正門	4条乗合	路線定期	交通事業者	
	防長交通本社前		徳山駅前	4条乗合	路線定期	交通事業者	

※幹線＝地域間幹線系統補助・車両減価償却費等補助、県＝単県補助

(3) コミュニティ交通¹

①運行状況

本土部では 6 地区でコミュニティ交通が路線バスを補完する形で運行しています。大津島では島民及び親族に利用者を限定したコミュニティバスが運行しています。

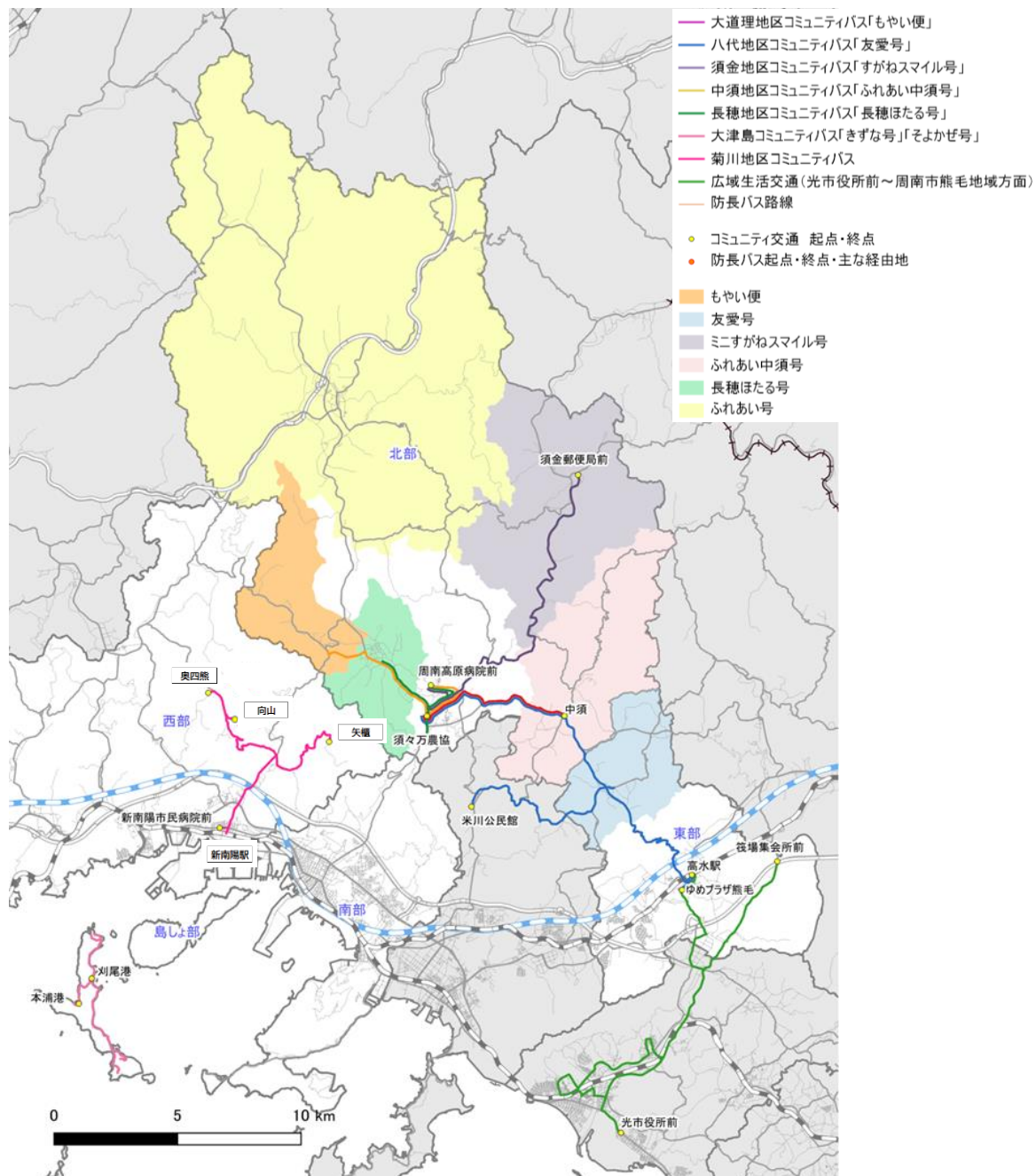


図 1 周南市に係るコミュニティ交通の運行エリア（令和 7（2025）年 4 月現在）

¹ コミュニティ交通 民間交通事業者が主体的に運営する公共交通サービス（路線バス等）とは異なり、行政や地域の主体的な運営により提供される、コミュニティ内の移動を主とした公共交通サービスを、本計画では「コミュニティ交通」と定義する。

表 2 周南市のコミュニティ交通の運行状況（令和 7（2025）年 4 月現在）

起点	主な経過地	終点	事業許可	運行様態	実施主体	補助
大道理地区コミュニティバス「もやい便」						
大道理地区内		須々万地区内	78 条	路線不定期	周南市	フィ
大道理地区内			78 条	区域運行	周南市	フィ
八代地区コミュニティバス「友愛号」						
八代地区内	鶴いこいの里	ゆめプラザ熊毛	78 条	路線定期	周南市	フィ
八代地区内			78 条	区域運行	周南市	フィ
八代地区内		米川公民館	78 条	区域運行	周南市	
八代地区内	鶴いこいの里	須々万農協	78 条	路線定期	周南市	
須金地区コミュニティバス「すがねスマイル号」						
須金郵便局前	高樋口	周南高原病院	78 条	路線定期	周南市	県
須金地区コミュニティバス「ミニすがねスマイル号」						
須金地区内			78 条	区域運行	周南市	県
中須地区コミュニティバス「ふれあい中須号」						
中須支所	高樋口	須々万農協	78 条	路線定期	周南市	県
中須地区内			78 条	区域運行	周南市	県
長穂地区コミュニティバス「長穂ほたる号」						
長穂支所	高樋口	周南高原病院	78 条	路線定期、 路線不定期	周南市	県
長穂地区内			78 条	区域運行	周南市	県
鹿野地域等乗合タクシー「ふれあい号」						
鹿野地区内			4 条乗合	区域運行	交通事業者 (市から委託)	
大津島コミュニティバス「きずな号」「そよかぜ号」						
刈尾港	馬島港、瀬戸浜港	本浦港	無償	路線定期	周南市	
菊川地区コミュニティバス(仮称)						
菊川地区内	菊川支所、新南陽駅前	新南陽市民病院	78 条	路線定期	周南市	フィ
広域生活交通(光市役所前～周南市熊毛地域方面)						
光市役所前	島田駅、小周防、兼清	高水駅、 筏場集会所前	4 条乗合	路線定期	交通事業者 (周南市、光市 から委託)	県

※フィ＝地域内フィーダー系統補助・車両減価償却費等補助、県＝単県補助

第4章 計画の基本的な方針

4-1. 基本理念

これまでの地域や公共交通の現状、市民の意向等を踏まえ、利用しやすく持続可能な公共交通の形成のために、本計画の基本理念（取組の方向性）を次のとおり定めます。

＜基本理念＞

共につくる 未来につなぐ 公共交通

4-2. 公共交通ネットワークの方向性と将来イメージ

4-2-1. 公共交通ネットワークの方向性

計画において、交通結節点の位置づけ、鉄道、航路、路線バス、コミュニティ交通といったそれぞれの交通手段が果たすべき役割等を明確にするため、上位・関連計画における方向性や公共交通の利用実態等を踏まえ、本市の公共交通ネットワークの方向性を次のとおり定めます。

表5 交通結節点の位置づけと方向性

分類	位置づけ	該当する場所等	確保・維持策
広域交通結節点	本市において中心的な場所にあり、幹線同士、あるいは幹線・支線の乗継が可能な場所	徳山駅・徳山港	・幹線同士、あるいは幹線・支線の円滑な乗継が可能となるよう整備を行う。 ・タクシーやマイカー、自転車との連携についても考慮する。
主要交通結節点	各エリアにおいて中心的な場所にあり、幹線・支線の乗継が可能な場所	＜東部＞ ゆめプラザ熊毛バス停 ＜西部＞ 新南陽駅 ＜北部＞ 徳山北部拠点施設、コアプラザかのバス停	・幹線・支線の円滑な乗継が可能となるよう整備を行う。 ・タクシーやマイカー、自転車との連携についても考慮する。
交通結節点	幹線・支線の乗継が可能な場所	その他の鉄道駅の駅ソレーネ周南 刈尾港、馬島港	・幹線・支線の円滑な乗継が可能となるよう整備を行う。 ・マイカー、自転車との連携についても考慮する。

表6 各交通手段の役割分担の方向性

分類	役割	対象交通手段	確保・維持策
都市間幹線	周辺都市との連絡	・JR 山陽新幹線、JR 山陽本線、JR 岩徳線 ・周防灘航路 ・高速バス（広島方面、福岡方面） ・路線バス（岩国方面、下松・光方面、防府・山口方面） 【補助対象系統 p15～p15-6 参照】 ・防府駅前～新南陽駅～徳山駅前 ・柳井駅前～快）光駅～徳山駅前 ・徳山駅前～バイパス・記念病院・久保団地・夢ヶ丘～ゆめプラザ熊毛 ・徳山駅前～徳山高校前・周南団地～下松駅北口 ・徳山駅前～中央線～下松駅北口 ・徳山駅前～高尾団地・久米温泉口～下松駅北口	・周辺都市との交流・連携を強化するため、必要なサービス水準を検討するとともに、路線バスに関しては、地域公共交通確保維持改善事業（幹線補助、車両購入補助）等を活用し、維持・確保に努める。 ・近隣自治体との広域連携を考慮する。 ・速達性、定時性、輸送力を中心にサービスを考える。
地域間幹線	市内拠点間の連絡	・JR 山陽本線、JR 岩徳線 ・大津島航路 ・路線バス 【補助対象系統 p15～p15-6 参照】 ・徳山駅前～新南陽駅・ソレーネ・湯野～柚木河内 ・徳山駅前～新南陽駅・夢求の里～コアプラザかの ・徳山駅前～川崎・新南陽駅・イオン・瀬ノ上～長田海浜公園	・市内における拠点間の連携を強化するため、必要なサービス水準を検討するとともに、路線バスに関しては、地域公共交通確保維持改善事業（幹線補助、車両購入補助）等を活用し、維持・確保に努める。 ・都市間幹線や支線との円滑な乗継に可能な限り配慮する。 ・速達性、定時性、輸送力を中心にサービスを考える。
支線	周辺地域から各拠点や交通結節点との連絡	・路線バス ・コミュニティ交通（乗合タクシー等） 【補助対象系統 p18～p18-2 参照】 ・大道理地区コミュニティバス「もやい便」大道理地区内～須々万地区内、大道理地区内（区域運行） ・八代地区コミュニティバス「友愛号」八代地区内～鶴いこの里～ゆめプラザ熊毛、八代地区内（区域運行） ・菊川地区コミュニティバス（仮称）（予定）	・各エリア内における市民の生活を支えるため、必要なサービス水準を検討するとともに、地域公共交通確保維持改善事業（フィーダー補助）等を活用し、維持・確保に努める。 ・都市間幹線や地域間幹線との円滑な乗継に可能な限り配慮する。 ・持続性・柔軟性を中心にサービスを考える。

全体的な評価指標

評価指標	データ取得方法	現状値 (令和元(2019)年度)	目標値(※) (令和7(2025)年度)
公共交通(鉄道、路線バス、コミュニティ交通、タクシー、離島航路)の年間利用者数(※)	交通事業者保有の乗降データを集計	691万人/年	691万人/年
路線バスの年間利用者数(周南市を通る全ての運行系統)	交通事業者保有の乗降データを集計	238万人/年 (令和5(2023)年度)	238万人/年
市内の乗合バス事業(※)の経常収支率	交通事業者保有の系統別収支データを集計	54.6%	54.6%
公共交通を維持するための行政負担額(路線バス、コミュニティ交通、離島航路)	市財政収支データ	248百万円	248百万円

※目標値の設定について、コロナ禍の影響は含めていないが必要に応じ見直しを行う。

※路線バスの年間利用者は、市内で完結する系統の利用者数

※離島航路は大津島航路のみを対象とし、年度期間は前年10月1日～当該年9月30日

※市内の乗合バス事業は、市内を運行する路線バス及びコミュニティ交通

個別の評価指標

基本方針1 効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの構築

目標1 効率的で利便性の高い公共交通を提供する

	評価指標	データ取得方法	現状値 (令和元(2019)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)
1-1	移動手段が確保された地区(※)の人口割合	メッシュ人口から算出	83%	88%
1-2	コミュニティ交通の導入地区数	導入実績データ	5地区	8地区

※鉄道駅や桟橋から半径800m、路線バスやコミュニティ交通の停留所から半径300m、予約型乗合タクシーの運行エリアのいずれかに該当する地区、及び公共交通以外での移動手段が確保された地区

基本方針 2 利用しやすいサービスと環境の整備

目標 2-1 公共交通を利用しやすい環境を整備する

評価指標		データ取得方法	現状値 (令和元(2019)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)
2-1-1	主な観光施設（徳山動物園）の来訪者の公共交通（鉄道または路線バス）利用割合	県観光統計データ	6.9%	8%
2-1-2	停留所における民間との協働による待合環境の整備件数	整備実績データ	1件	4件
2-1-3	施設等におけるGPS ² を活用した運行情報案内機器の整備件数	整備実績データ	1件	5件

目標 2-2 公共交通を利用する意識を醸成する

評価指標		データ取得方法	現状値 (令和元(2019)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)
2-2-1	市内における公共交通の乗り方教室の年間実施回数	実施実績データ	2回/年	4回/年
2-2-2	市内一斉ノーマイカー運動 ³ への参加事業所数	参加実績データ	25事業所	60事業所

基本方針 3 関係者の役割分担と連携による公共交通を軸としたまちづくりの推進

目標 3 関係者の連携により公共交通の事業環境を確保する

評価指標		データ取得方法	現状値 (令和元(2019)年度)	目標値 (令和7(2025)年度)
3-1	人材育成支援制度の利用者数	利用実績データ	5人/年	10人/年

² GPS：Global Positioning System（全地球測位システム）の略。人工衛星を利用して位置情報を計測するシステム

³ ノーマイカー運動：マイカーの利用を減らすことで、公共交通の利用促進や環境への意識を高める取組のひとつ